

木次町地域自主組織連絡協議会と市長との意見交換会

【日時】

令和5年9月19日（火）9:30～11:20

【場所】

木次総合センター

【参加者数】

10人

■意見交換会

【地域自主組織の課題共有・情報交換フリートークに市長も参加する形での開催】

総合センター）各地域の防災訓練（安否確認や情報伝達）はどのようにしているか

ご意見）安否確認と情報共有は重視している。

ご意見）先日、防災と交通安全をテーマに研修会を行った。地域の危機感は薄いと感じた。

過去の水害を知っている人も少なくなり、尾原ダムができてから、当地区は安心という人が多い。連絡網の確認、避難訓練を年一回行っているが避難所運営の訓練は行っていない。

自治会内80%の人には伝わり残りは電話で伝える。連絡がつかない家もあり課題である。

ご意見）9月上旬に7つの自治会で伝達訓練をした。初めての伝達訓練。他の自治会は伝達の手段がない。今後は別の自治会で行う予定。安否確認できない方があった。災害は発生時から状況が変化するが、安否の確認を1回すればいいのか、時間経過に応じ状況変化後も行うのかという課題があった。

ご意見）当地区は3つに別れておりエリアが広い。全ての地区の避難所を交流センターとしていたが、狭隘によりそれぞれの地区で避難場所を決めることを協議している。

ご意見）要支援者を優先するが住民全員の安否確認をしようとしている。スピードが重要で目標15分としているが訓練では30分かかった。地区により災害の違いもある。毎年全住民の台帳を更新している。自治会単位でも地域自主組織単位でも出来るようにしている。先日は一人を除いてすべて確認できた。安否の確認を災害の時間経過により一度でいいのか、2度目をするのか検討余地がある。伝達訓練は避難先を①避難所②家③家以外の安全な場所と3つに分けることによって避難状況をスピーディーに把握することとしている。班別のグループLINEを検討している。連絡先も固定電話から携帯電話に変更しつつある。家族構成を把握するため各家庭から家族情報を提供してもらっている。個人情報ではあるが、了承を得て家族の名前まで把握しており問題はないと思っている。

ご意見）各家庭の電話番号を自治会長に渡している。自治会未加入の方をどうするかが課題。

ご意見）個人情報の問題もあり名簿をどこまで整備するか課題である。

ご意見）自治会長に名簿整備のため自治会未加入の人にも家族情報を聞いてもらっている。

一人ひとり細かに手入れしている。出来る自治会からやっていってはどうか。

ご意見）防災と福祉の為に使うので誰が住んでいるか、自治会に入っていない方をどうやっ

て把握するか。市営住宅や民間アパートなどは把握が難しい。

ご意見) 自治会長より要支援者名簿をどのように手入れしたらよいか尋ねられることが多い。自治会長を持ち回りで行う自治会は高齢者が自治会長となった場合、名簿更新が難しい場合もある。要支援者名簿の更新はあまりできていない。今年7月に安否確認訓練をした。訓練日を指定した上での訓練で災害を想定したものとは言えないとの意見があった。訓練日を指定せずに行う訓練も要検討だが対応できるかどうか難しい状態。当地区は大雨時には水没する地域なので、家庭ごとにどこへ避難するか具体的に決めていく必要がある。

ご意見) 訓練はしていないがマニュアルを各自治会で作成している。まずまず浸透している。大雨の度、避難者を交流センターで受入れ、職員が泊まりで対応している。年に一度防災研修を実施している。今年5月に高齢女性に連絡がつかなかったことが1件あったが自治会長が把握していた。自治会長を通じて見守りを行っている状況。

市 長) 地域で安否確認をしてもらっていることには感謝申し上げる。

行政が災害時の対応の際、住民の安否がわかっているのはありがたい。100%の情報でなくとも、情報があることで探す効率が上がる。個人情報に事前了解の事だと思う。民生児童委員が災害時に安否確認をする事は負担が大きい。災害時に確かな情報が集まると対応に生かせるので今後とも協力頂きたい。

ご意見) 地域に防犯カメラを早期に整備してほしい。防犯カメラは町内のどこにあるのか分からない。スポ少バレーが木次体育館を利用しているが壁打ちが禁止となった。子どもが安心して使えるようにしてほしい。

市 長) 防犯カメラの設置については補助があったように思う。

ご意見) 犯罪は高速道路に乗ってやってくるというのが防犯のカメラの設置を切実に願う。

市 長) 店舗設置のカメラ情報の提供は任意である。最近ではドライブレコーダーが捜査のきっかけとなっている。体育館の壁打ちはそもそもやってはいけない体育館が多い。木次体育館耐震診断の件があり今後方針について時期が来たら説明したい。

ご意見) 中学校の建て替え整備、野球場、体育館も一緒に考えていかないといけない。

ご意見) 木次体育館は私が幼少の頃に建ちとても古いが耐震工事が可能と聞いたが。

ご意見) 木次中学校整備検討委員会に参加している。木次体育館は中学校の体育館として整備か、別の体育館とするかは今後の検討事項。

ご意見) 中学校の移転は体育館、野球場、国スポといろいろな事と関連する。木次体育館についても総合的に考えないといけない。

ご意見) Iターンされた方が地域の休耕田を耕作し定住している。早朝から草刈りなど熱心であり移住者が地域を担っていることを喜んでいる。移住者により子どもも増えている。農業の担い手が減る中で新たな移住施策を考え、地域自主組織の職員確保や待遇改善を検討してもらっているが、それより荒廃している土地を耕作してもらえ NPO 法人の設立な

どの方がありがたい。

ご意見) 雲南市に來たい県外者はたくさんいるがお試して1~3か月滞在する場所がない。3か月程すぐに住める状態の施設があるといい。出雲や松江に泊まり雲南に通っている方もいる。

市長) 移住について、地域おこし協力隊員を4人確保した。今後3年間で20人を目指したい。起業型の協力隊ではゲストハウスの運営に取り組んでいる。お試し住宅を考えたい。雲南市に興味を持つ人の短期住宅確保も考えていく必要がある。他地域から結婚により来る方も移住と考える。受け入れ側の人権施策・共生施策にしっかり取り組む必要がある。他県で農業公社が分配して貸し付ける地域があるが資金確保を安定させる必要がある。空き家対策、山の管理、耕作放棄地などの問題をどう活用していくかが課題

ご意見) 当地区は他県から來られた方も多く、移住された方が設立した事業所もある。地域自主組織の担い手の課題については処遇もだが、人材確保の方が難しい。

ご意見) 先日木次中学校の授業にIターンで農業をしている方とともに参加した。その方は「移住者の中には農業とその他やりたい事をして暮らしている人もいるよ」と中学生に話しをしていた。我々は移住してきた方を労働力としてみてしまうことがあり、移住者が地域と合わなくなり出て行かれることがある。我々が意識を変えていかないといけない。移住者の方と折り合いをつけていけば、放棄地も改善され、その結果として地域も良くなる。

市長) 地域により違いがある。自治会の常会も毎月か年に数回など違いはあるが、子どもに関する事業で地域とのつながりが出来ていくといい。働く場所がないと言われるが、割り切って仕事をやり、趣味を楽しむという考えであれば仕事場は多くあると思う。市全体で発想を変えればチャンスはある。守る部分と変えていくところは地域の話し合いで決まっていくと思う。

ご意見) 総合計画の人口減対策の議論もあるが、田舎暮らしを楽しむなどの番組が人気であり田舎暮らしにあこがれる人も多くいる。どこにターゲットを絞るかだが、どの良さも雲南市にはあると思う。当地区には田舎の良さを生かす場所はないが、市として本来の人間らしい営みが出来る場所というPRが出来る。発想を変えイノシシも鹿もいるとPRをしては。当地区は自治会が5つある。自治会単位で行ってきた様々な活動を地域自主組織で取り組んでも良いと思う。例えば運動会という形ではなくスポーツ大会のようなやり方で地域自主組織主催にしてもいいと考えている。地域自主組織も変わっていくべき。

ご意見) いい発想である。

ご意見) 当地区は地域自主組織が主導で自治会に協力を求める仕組みである。総合計画の策定委員をしているが、市内に様々なことに取り組んでいる人がいることを我々が知らない。よって一般の方はもっと知らないと思う。策定委員会の中で総合計画に情報の発信といった視点を入れて欲しいと述べようと思っている。

ご意見) 外部の方への地域情報の発信を大切にしよう。

ご意見) 小学校の職員会議にて地域自主組織はどのようなことをしているか説明した。市外から来る先生が2/3程度で地域自主組織の事をよく知らない人もいた。

ご意見) 木次町内で地域の運動会をやめる動きが多く危機感を持っている。敬老会などに影響しないか懸念している。

総合センター) 木次地区の運動会中止はコロナ・インフルエンザ等の影響もあるが、高齢化や少子化による参加自治会の減少によるものである。

終了時間 11:20